

地震に備えて

想定される地震

千葉県の設定する想定地震としては、近い将来、千葉県に大きな影響があると考えられている地震として、「房総半島東方沖日本海溝沿い地震」や「千葉県北西部直下地震」等があります。銚子市でこのような地震が発生した場合、最大で震度6強の揺れが発生し、家屋の倒壊や電気・ガス・上下水道等の生活インフラの被害が多数発生することが想定されます。また、避難経路となる道路も陥没するなど避難や物資輸送に大きな支障をきたすことも想定されます。市民の皆様には、このように地震が発生した場合に備え、日頃から地震に対する備えを心掛けていただくと共に、地震発生時にはまず身の安全を守り、揺れがおさまったら安全な場所に避難していただき被害を最小限に抑えることが大切です。

マグニチュードと震度

マグニチュード

マグニチュードとは、地震そのものの大きさ(規模)を表します。一般にマグニチュードにより、次のように表現しています。

マグニチュードM8程度以上	→ 巨大地震
マグニチュードM7以上	→ 大地震
マグニチュードM5以上M7未満	→ 中地震
マグニチュードM3以上M5未満	→ 小地震
マグニチュードM1以上M3未満	→ 微小地震
マグニチュードM1未満	→ 極微小地震

震度

震度とは、地震の際の各地点の揺れの強さを表します。一般的に、マグニチュードが大きくても震源が遠い場合や深い場合は、震度が小さく、マグニチュードが小さくても震源が近い場合や浅い場合は、震度が大きくなります。

震度の違いと被害想定

0		人は揺れを感じないが、地震計には記録される。	弱		大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
1		屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	5		大半の人が、物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。
2		屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。	弱		立っていることが困難になる。
3		屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もいる。眠っている人の大半が目覚ます。	6		立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。
4		ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが目覚ます。	7		

地震発生時の時間経過別行動マニュアル (室内にいた場合)

地震発生

1~2分

最初の大きな揺れは約1分間

- まず、自分の身を守る (机の下に隠れたり、手近な座布団などで頭を保護する)



揺れがおさまったら

- すばやく火の確認、ガスの元栓、ストーブ、コンセント (火が出たら、落ち着いて初期消火※初期消火の限界は炎が天井にとどく前まで)
- 家族の安全を確認 (倒れた家具の下敷きになっていないかを確認)
- ドアや窓を開けて逃げ道を確認
- 靴などをはく (ガラスの破片の散乱から足を守るため、靴や厚手のスリッパをはく)
- 室内に居ることが危ないと感じた場合、すばやく屋外の安全な場所へ一時避難する
- 避難するときは、屋根がわらの落下やブロック塀・自動販売機などの転倒に注意

3分

みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

隣近所に声をかけよう

- 隣近所で助け合う (要配慮者の安全確保をする)
- 行方不明者はいないか
- ケガ人はいないか



出火防止・初期消火

- 消火器を使う
- 座布団、毛布、大きめのタオルなどの活用
- 漏電・ガス漏れに注意 (ガスの元栓・電気のブレーカーを切る)
- 余震に注意
- 火災発生時の初期消火 (バケツリレー)
- 風呂の水はため置きしておく (ただし、乳幼児のいる家庭では浴槽への転落防止のため工夫しましょう)

5分

ラジオなどで正しい情報を

- 大声で知らせる
- 救出・救護
- 防災機関、自主防災組織の情報を確認
- デマにまどわされないように
- 避難時に車は原則として使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する



10分

協力して消火活動、救出・救護活動を

- 水、食料は蓄えているものでまかなう (最低でも3日間、できれば1週間分備蓄しておく)
- 災害情報・被害情報の収集
- 風呂水をため置きしておく
- 避難所情報を確認する
- 助け合いの心が大切
- こわれた家には入らない
- 引き続き余震に注意
- 無理はしない



屋内にいた場合

家の中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、揺れがおさまってからすばやく屋外の安全な場所へ避難する
- 火の確認は揺れがおさまってからすまやかにする
- 乳幼児や病人、高齢者など要配慮者、避難行動要支援者の安全を確保する
- 裸足で歩き回らない



デパート・スーパー

- カバンなどで頭を保護し、柱や壁ぎわに身を寄せせる
- 係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる
- 商品の落下やショーケースの転倒、ガラスの破片に注意する

劇場・ホール

- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠す
- 係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる



集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する
- 避難にエレベータは絶対使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する

屋外にいた場合

路上

- その場に立ち止まらず、周りの危険物に注意し、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する
- 近くに空き地などがいないときは、周囲の状況を冷静に判断して、堅牢な建物など安全性の高い場所へ移動する
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する



車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両などの通行スペースを確保し、安全を確認して道路の左側に停車する
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する
- 避難が必要ときは、キーはつけたまま、ドアロックもしないで、車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する

海岸付近

- 高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない

電車などの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりとつかまる
- 途中で止まっても、非常口を開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる



株式会社
高橋測量設計事務所

(土地家屋調査士事務所併設) 土地家屋調査士 高橋 宏明

登記・測量・調査 境界問題相談

〒288-0056 銚子市新生町1丁目116

TEL 0479-22-6151 FAX 0479-22-6152

http://www.takasoku.e-choshi.jp/
E-mail:takasoku@e-choshi.jp